

長期ステロイド使用後に手の剥離と出血が続き 3 年で指先のみとなった手部アトピーの経過 (31 歳)

症例 ID：001-30-YT2 | 記録日：2016 年 6 月 13 日

1. 診断・治療前経過

長年ステロイドを使用していましたが、次第に効きにくなりました。手のひら、手の甲、指先を含む手全体に症状があり、2013 年 4 月末に松本医院を受診されました。治療開始時に従来のステロイドを中止しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	手全体の症状にステロイドを長年使用しました。
製品名	不明です。
強度	不明です。
使用期間	長期間です。
中止時期	2013 年 4 月末の治療開始時です。
来院前／後	来院前に長期使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
2013 年 4 月末	治療開始	手のひら、甲、指先に症状がある状態で治療を開始しました。
開始直後～約 10 か月	ピーク	手の表皮が剥けて出血し、手袋が一日で使えなくなる状態が続きました。
開始約 1 年半	皮膚の変化	手の見た目が初期と比べて大きく変化しました。
開始約 3 年	長期経過	症状のある部位は指先のみとなり、軽い手荒れ程度になりました。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始後約 10 か月間、手の表皮が剥けて出血し、保護用の手袋が一日で使えなくなる状態が続いた時期です。

5. 困りごと

- 手の表皮が剥け、出血が繰り返されました。
- 手袋による保護が一日しかもたないほど症状が強い時期がありました。
- 手を使う日常動作に長期間負担がありました。

6. 経過のまとめ

治療開始後約 10 か月は手の剥離と出血が続きましたが、約 1 年半頃から見た目に大きな変化がみられました。約 3 年後には症状が出る部位は指先のみとなり、周囲からは軽い手荒れに見える程度まで軽くなりました。

本ページは患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の結果を保証しません。